

# 岡山県感染症週報 2013 年 第 13 週 (3 月 25 日～3 月 31 日)

◎岡山県では『インフルエンザ注意報』発令中です

## ◆2013 年 第 13 週 (3/25～3/31) の感染症発生動向 (届出数)

### ■全数把握感染症の発生状況

第 11 週 2 類感染症 結核 3 名 (20 代 女 1 名、30 代 男 1 名、70 代 男 1 名)

5 類感染症 梅毒 1 名 (60 代 男)

第 12 週 2 類感染症 結核 2 名 (30 代 女 1 名、80 代 女 1 名)

第 13 週 3 類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 2 名 (O146: 20 代 男 1 名、50 代 女 1 名)

5 類感染症 風しん 1 名 (20 代 男)

### ■定点把握感染症の発生状況

○インフルエンザは、県全体で 472 名 (定点あたり 8.82 → 5.62 人) の報告があり、減少がつづいています。

○感染性胃腸炎は、前週とほぼ同数でした (定点あたり 9.56 → 9.17 人)。

1. **腸管出血性大腸菌感染症**は、2 名の報告があり、2013 年は第 13 週までに 4 名が報告されています。患者発生が多いのは夏から秋ですが、この時期以外でも患者の発生がありますので、食肉は中心部まで火を通すなど、通常の食中毒対策を励行し、感染予防に努めましょう。
2. **インフルエンザ**は、県全体で 472 名 (定点あたり 5.62 人) の報告があり、前週 (8.82 人) より減少しました。すべての地域で患者が減少し、発生レベル 1 になりました。流行のピークは過ぎたものの、しばらくはインフルエンザの流行がつづくと考えられます。岡山県は平成 25 年 3 月 28 日に「インフルエンザ警報」を「インフルエンザ注意報」に切り替え、ひきつづき注意喚起を図っています。手洗い・うがいなど感染予防に努めてください。県内の詳しい発生状況などは『インフルエンザ情報』をご覧ください。全国の第 12 週 (3/18～3/24) の集計によると、定点あたり 6.75 人であり、前週 (8.13 人) よりも減少しました。第 5 週以降減少がつづいており、43 都道府県で前週の報告数より減少しました。2 月以降検出されたインフルエンザウイルスは AH3 型が最も多く検出されている一方で、B 型の検出割合が徐々に増加しています。
3. **感染性胃腸炎**の定点あたり患者数は、前週とほぼ同数でした (定点あたり 9.56 → 9.17 人)。0～2 歳の乳幼児が患者全体の 32% を占めています。県内の発生状況など詳しくは『感染性胃腸炎情報』をご覧ください。
4. **風しん**は 1 名の発生があり、岡山県では 2013 年第 1～12 週までに 12 名が報告され、2008 年の 13 名に次いで患者報告が多くなっています。第 13 週に報告された患者は、20 代男性で予防接種歴はありませんでした。県内のこれまでの発生状況は、男性が小学生から 40 代までの 9 名、女性は 20 代、30 代、60 代が各 1 名の計 3 名でした。

全国では関東地方、近畿地方を中心に昨年を上回る大きな流行になっており、2013 年 1 月～3 月 27 日までの累計報告数は 2,418 人であり、大流行となった昨年 1 年間の患者報告数 2,353 人を、3 ヶ月ですでに上まわっています。特に 2 月下旬からは 1 週間の患者発生数が毎週 300 人を越えるなど、2008 年に風しんが全数把握感染症になって以降、これまでにない規模で患者が急増しています。患者の多くは 20～40 代の男性で、患者全体の約 67% を占めています。

妊婦、特に妊娠初期の女性が風しんにかかると、胎児に風疹ウイルスが感染し、難聴、心疾患、白内障などの障がい (先天性風しん症候群) をもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。妊娠中の女性は風しんの予防接種を受けられないため、厚生労働省では、妊婦の夫、子供、同居家族の方が風しんを発症しないように、予防接種を受けることを勧めています。風しんの予防接種については、お住まいの地域の保健所へお問い合わせください。

### 【お知らせ】 中国でインフルエンザ A(H7N9)の患者が発生しました。

これまでに (平成 25 年 4 月 4 日現在)、中国でインフルエンザ A (H7N9) に感染したと確定された患者は 7 人です。現時点では、このインフルエンザウイルスの亜型に有効なワクチンはありません。中国に滞在する方は、今後の情報に注意していただくとともに、手洗いや咳エチケットをこころがけてください。

また、鳥に直接接触ったり、病気の鳥や死んだ鳥に近寄ったりしないようにしましょう。

○[海外で健康に過ごすために 新着情報 \(厚生労働省検疫所ホームページ\)](#)

○[中国における人での鳥インフルエンザ A\(H7N9\)感染症に関する Q&A 世界保健機構 WHO](#)

(国立感染症研究所 感染症疫学センター)

## 流行の推移と発生状況

疾病名	推移	発生状況	疾病名	推移	発生状況
インフルエンザ		★★	RSウイルス感染症		★
咽頭結膜熱		★	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		★
感染性胃腸炎		★★★★	水痘		★★
手足口病		★	伝染性紅斑		★
突発性発疹		★★	百日咳		
ヘルパンギーナ			流行性耳下腺炎		★
急性出血性結膜炎			流行性角結膜炎		★
細菌性髄膜炎			無菌性髄膜炎		
マイコプラズマ肺炎		★	クラミジア肺炎		

【記号の説明】 前週からの推移:



:2倍以上の減少



:1.1~2倍未満の減少



:1.1未満の増減



:1.1~2倍未満の増加



:2倍以上の増加

発生状況: 空白:発生なし

★: 僅か

★★: 少し

★★★: やや多い

★★★★: 多い

★★★★★: 非常に多い

※今週の流行状況を過去5年間と比較し、5段階で表示しています。

### 【医療機関のみなさまへ】

今般、中国において鳥インフルエンザ A(H7N9)の患者が発生したことを世界保健機関（WHO）が発表しました。これを受けて、厚生労働省は、都道府県等に情報提供を行うとともに、医療機関に対して、鳥インフルエンザ A(H7N9)感染が疑われる患者を診察した際は情報提供するよう、自治体を通じて協力を要請しました。

情報の提供を求める患者の要件としては「38度以上の発熱と急性呼吸器症状を呈し、臨床的又は放射線学的に肺病変（例：肺炎又はARDS）が疑われる者であり、発症前10日以内に中国に渡航又は居住していた者。但し、他の感染症によること又は他の病因が明らかな場合は除く」とされています。

○[中国における鳥インフルエンザ A\(H7N9\)の患者の発生について\(厚生労働省ホームページ\)](#)

○[中国における鳥インフルエンザ A\(H7N9\)の患者の発生について\(情報提供及び協力依頼\)](#)

(厚生労働省結核感染症課長通知 平成25年4月3日)

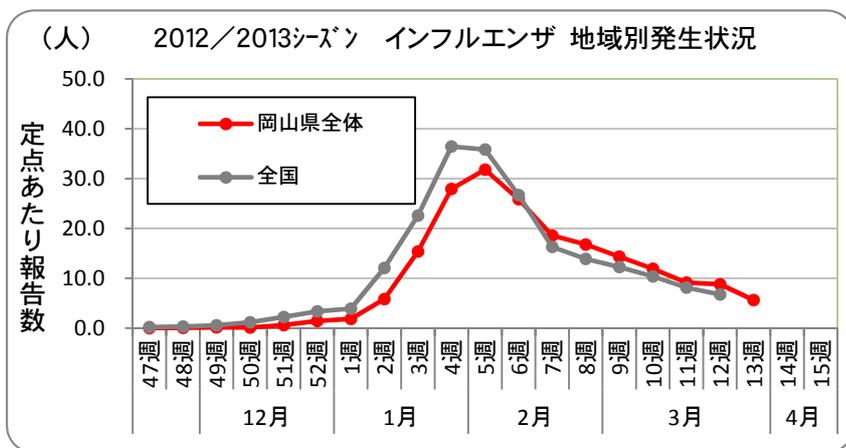


# 1. 地域別発生状況

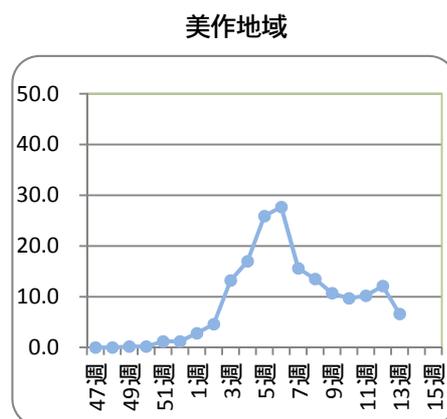
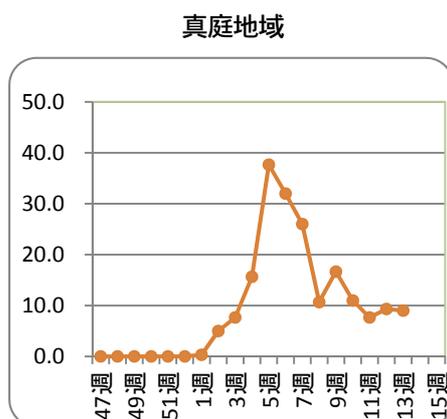
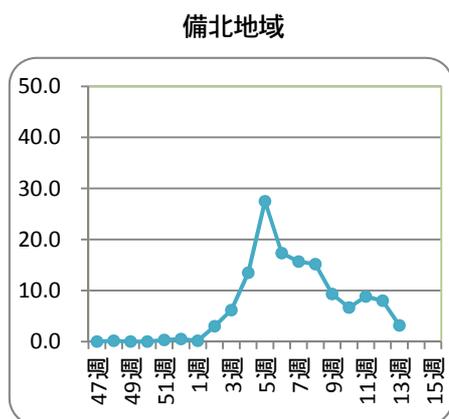
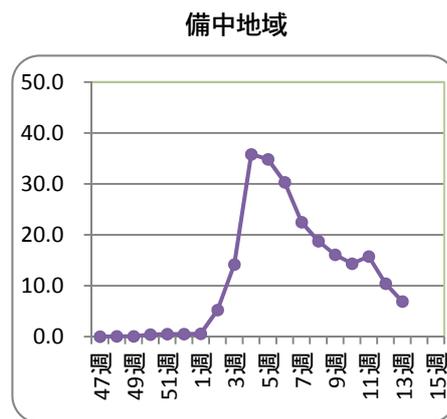
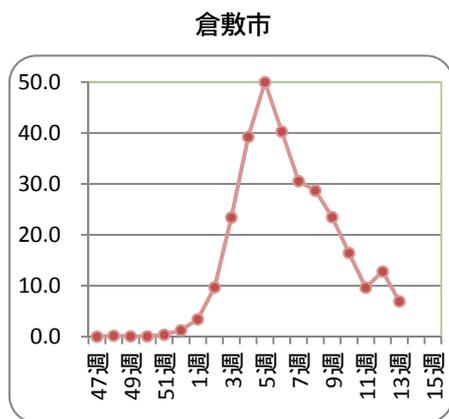
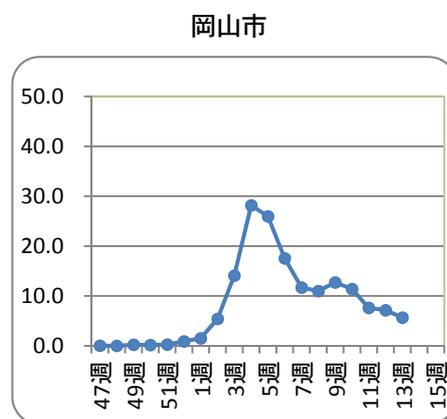
第 13 週 (3/25~3/31) 前週からの推移 (単位 : 人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	472	↓	備 中	患者数	83	↓
	定点あたり	5.62			定点あたり	6.92	
岡山市	患者数	125	↓	備 北	患者数	19	↓
	定点あたり	5.68			定点あたり	3.17	
倉敷市	患者数	111	↓	真 庭	患者数	27	→
	定点あたり	6.94			定点あたり	9.00	
備 前	患者数	41	↓	美 作	患者数	66	↘
	定点あたり	2.73			定点あたり	6.60	

【記号の説明】 前週からの推移 : 2倍以上の減少 ↓ 1.1~2倍未満の減少 ↘ 1.1未満の増減 →  
1.1~2倍未満の増加 ↗ 2倍以上の増加 ↑

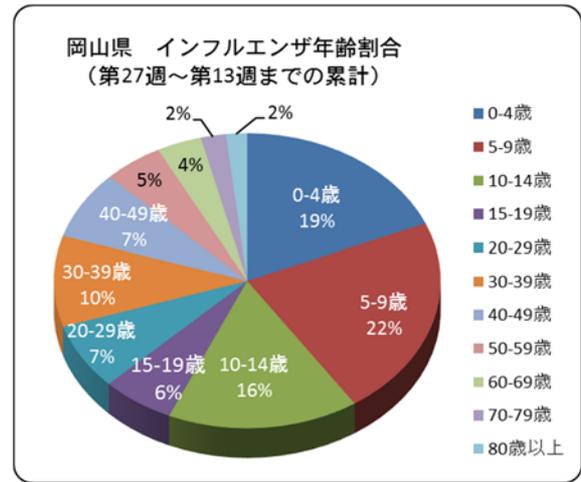
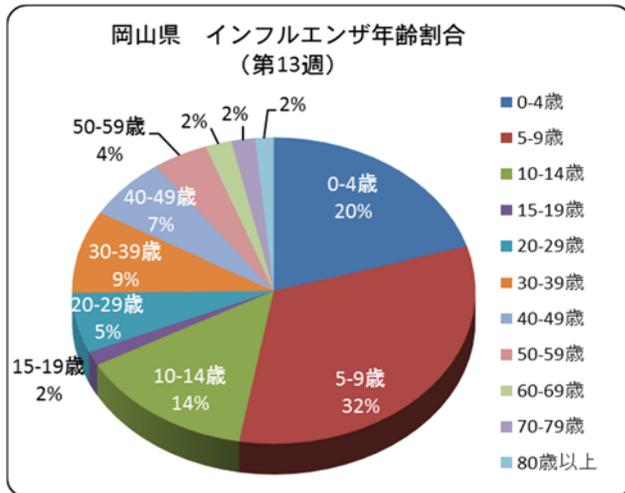
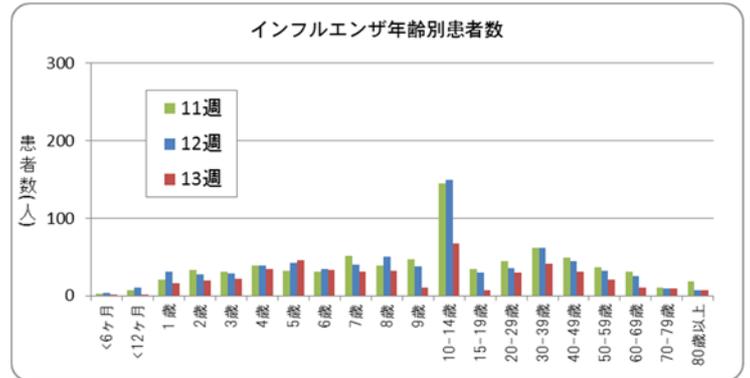


全国集計第 12 週(3/18~3/24)の定点あたり患者数は 6.75 人となり、前週(8.13 人)よりも減少しました。第 5 週以降減少が続いており、43 都道府県で前週の報告数より減少しました。インフルエンザウイルス AH3 型の割合が最も多く検出されている一方で、B 型の検出割合が増加してきています。



## 2. 年齢別発生状況 第13週 (3/25~3/31)

第13週の患者の年齢割合は、5-9歳が32%、0-4歳が20%、10-14歳が14%の順でした。春休み期間中であることから、患者数は減少しましたが、ひきつづき幼児、小学生、中学生に該当する年齢層が全体の66%を占めています。



## 3. インフルエンザウイルス検出状況 第13週 (3/25~3/31)

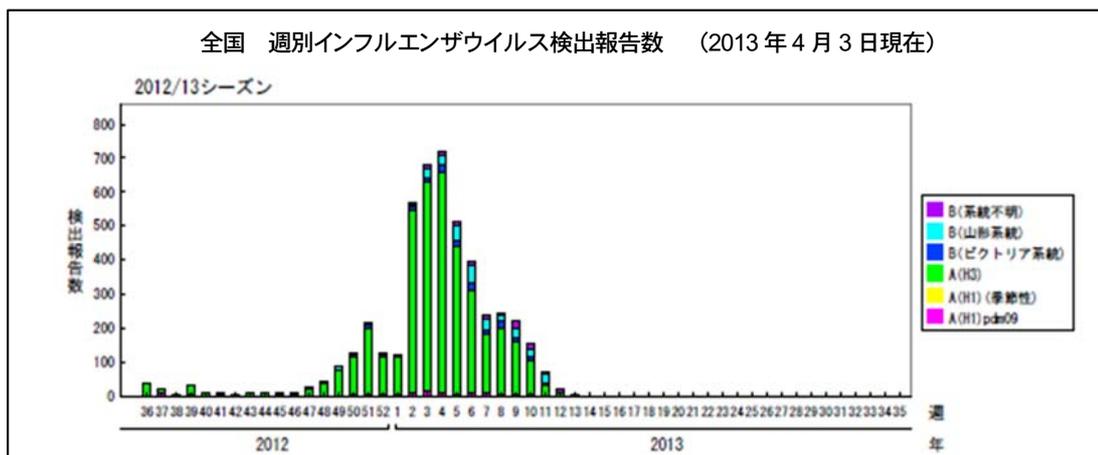
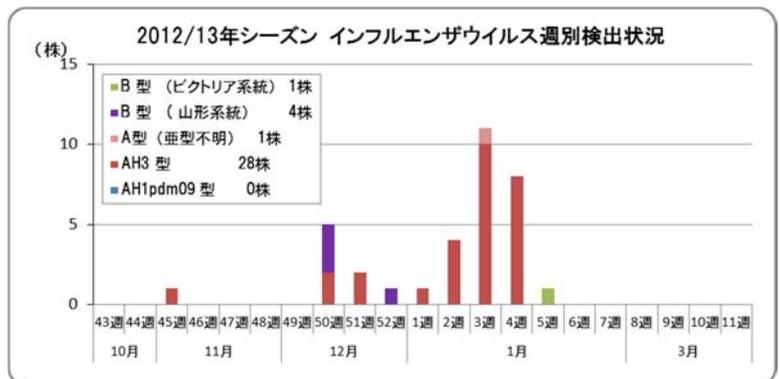
第13週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスはありませんでした。

これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が28株、A型(亜型不明)が1株、B型(山形系統)が4株、B型(ビクトリア系統)が1株です。

全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH3型が最も多く85%、B型が13%、AH1pdm09型が2%の順になっています。

昨シーズン同様 AH3型が主流になっています

が、B型の検出割合が徐々に増加しています。 ([インフルエンザウイルス分離・検出速報 国立感染症情報センター](#))



4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数 第13週(3/25~3/31)

インフルエンザとみられる学校等の臨時休業はありませんでした。

◆第13週 臨時休業施設数



1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳 第13週

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
<b>岡山県全体</b>	<b>0</b>	7792	<b>0</b>	5747	<b>0</b>	562	<b>0</b>	22	<b>0</b>	182	<b>0</b>	358	<b>H 24. 11. 6</b>
岡山市	0	2906	0	2103	0	184	0	2	0	30	0	152	H24. 11. 6
倉敷市	0	1791	0	1288	0	109	0	1	0	15	0	93	H25. 1. 15
備前地域	0	875	0	664	0	80	0	4	0	36	0	40	H25. 1. 15
備中地域	0	1109	0	895	0	92	0	6	0	42	0	44	H24. 12. 12
備北地域	0	301	0	231	0	31	0	3	0	23	0	5	H25. 1. 21
真庭地域	0	128	0	90	0	12	0	1	0	9	0	2	H25. 1. 21
美作地域	0	682	0	476	0	54	0	5	0	27	0	22	H25. 1. 15

\* 地域名は、保健所管轄地域を表しています

2) 臨時休業施設数の内訳

第13週：0施設

累計：562施設

	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	—	—	<b>0</b>	98	<b>0</b>	336	<b>0</b>	78	<b>0</b>	46	<b>0</b>	4

◆ **インフルエンザによる出席停止期間が改正されました。**

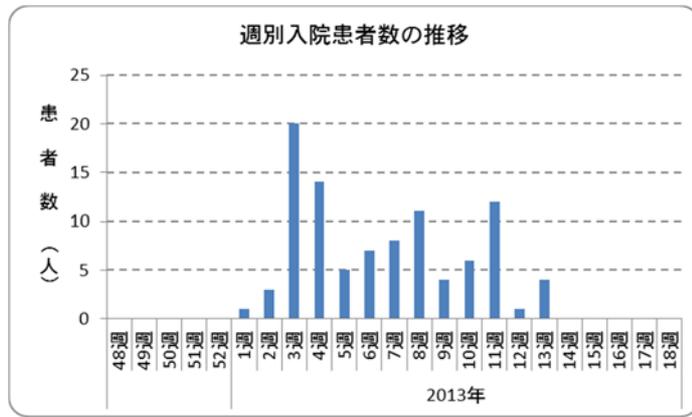
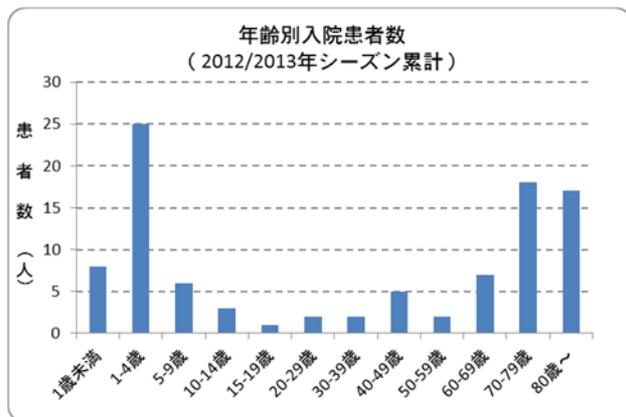
平成24年4月1日より、学校保健安全法施行規則が一部改正され、インフルエンザの出席停止期間が「解熱した後2日を経過するまで」から「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日(幼児にあっては、3日)を経過するまで」に改正されました。水分を十分にとり、安静にして休養をとりましょう。

※ [学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令の施行について\(通知\)](#)

5. インフルエンザによる入院患者報告数 第13週(3/25~3/31) (県内基幹定点 5医療機関による報告)

インフルエンザによる入院患者は、4名(1~4歳 1名、5~9歳 1名、40代 1名、80歳以上 1名)の報告がありました。10歳未満の幼児や70歳以上の高齢者で入院患者が多くみられます。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関に相談しましょう。



【第13週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数		1	1					1				1	4
ICU入室													
人工呼吸器の利用													
頭部CT検査(予定含)			1										1
頭部MRI検査(予定含)			1										1
脳波検査(予定含)													
いずれにも該当せず		1						1				1	3

\*重複あり

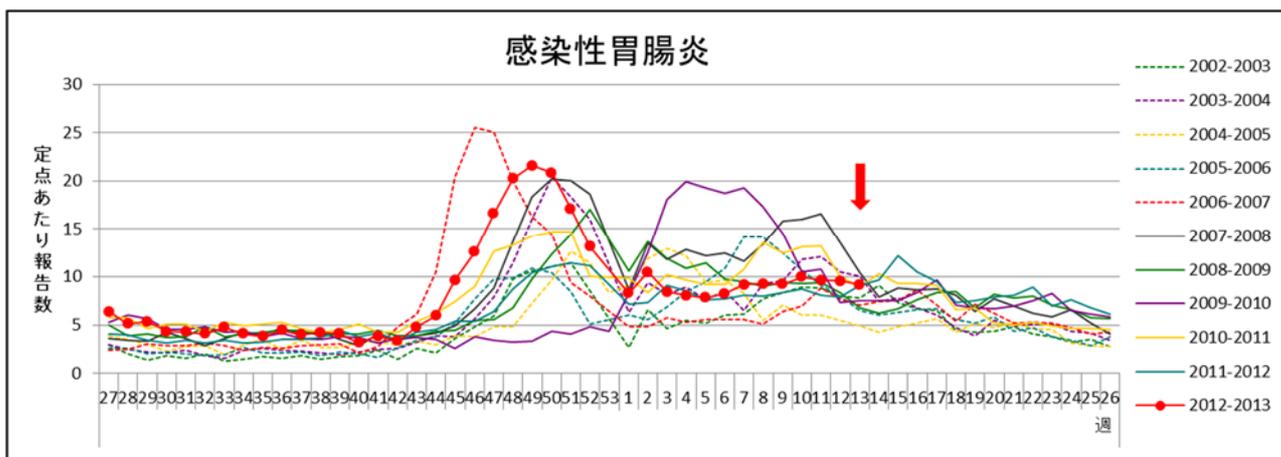
【平成24年9月3日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1~4歳	5~9歳	10~14歳	15~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70~79歳	80歳以上	計*
入院患者数	8	25	6	3	1	2	2	5	2	7	18	17	96
ICU入室										1			1
人工呼吸器の利用							1			1			2
頭部CT検査(予定含)		3	3	1	1	1	1				2		12
頭部MRI検査(予定含)		8	2		1		1						12
脳波検査(予定含)		1					1						2
いずれにも該当せず	8	16	2	2		1	1	5	2	6	16	17	76

\*重複あり

## 感染性胃腸炎情報 2013 年 第 13 週 (3 月 25 日 ~ 3 月 31 日)

○岡山県内の患者報告数は 495 名 (定点あたり 9.17 人) であり、前週とほぼ同数でした。(54 定点医療機関報告)

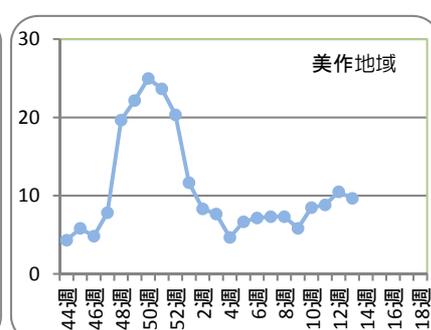
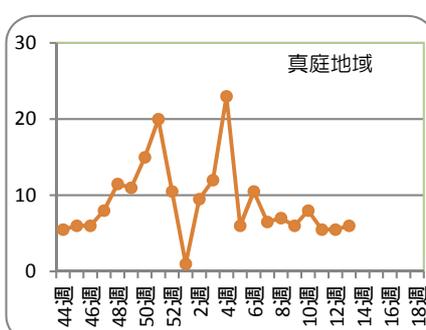
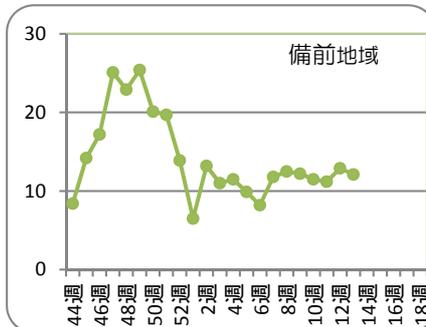
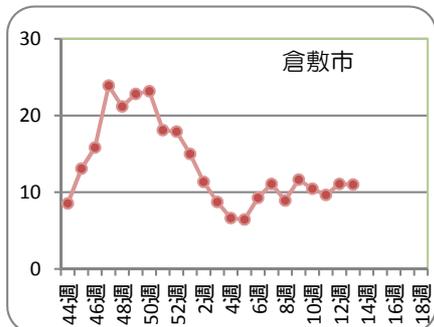
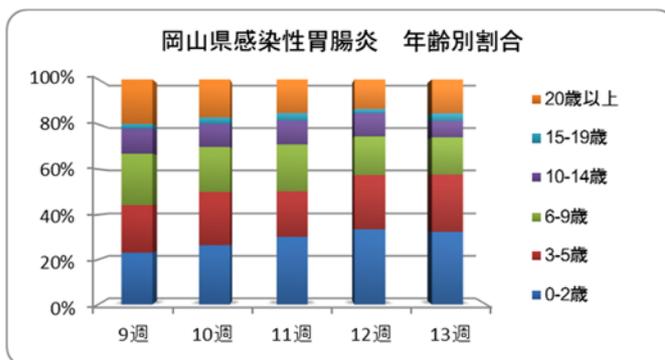
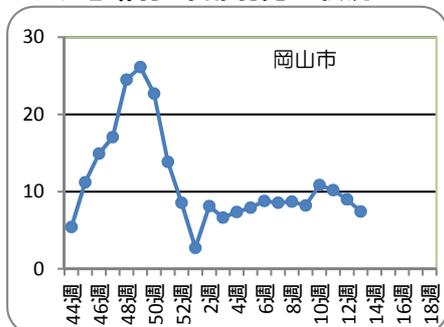


※感染性胃腸炎は秋から翌年の春にかけて流行するため、前年 27 週 ~ 今年 26 週を 1 シーズンとして、グラフを作成しています。

**感染性胃腸炎**は、前週とほぼ同数で (定点あたり 9.56 → 9.17 人)、第 3 週以降横ばいで推移しています。地域別では、備前地域 (12.10 人)、倉敷市 (11.00 人)、備北地域 (10.50 人) で患者が多くなっています。年齢別では、0~2 歳が全体の 32% を占めており、この年齢層の割合が徐々に増加しています。

患者数の大きな増加はありませんが、依然として流行期にあります。また、例年 3~5 月にかけては、ロタウイルスによる胃腸炎が、0~2 歳の乳幼児を中心に増加するとされています。主な症状は嘔吐と下痢で、ノロウイルスに比べ重症度が高いといわれています。嘔吐や下痢により脱水症を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診してください。県内では、胃腸炎患者からロタウイルスの検出が確認されています。手洗いの徹底や、下痢便・吐物の適切な処理など感染予防と拡大防止に努めてください。

### ◆地域別・年齢別発生状況



保健所別報告患者数 2013年 13週 ( 2013/03/25～2013/03/31 )

2013年4月3日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	472	5.62	125	5.68	111	6.94	41	2.73	83	6.92	19	3.17	27	9.00	66	6.60
RSウイルス感染症	7	0.13	5	0.36	1	0.09	1	0.10	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	8	0.15	4	0.29	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	0.65	9	0.64	10	0.91	2	0.20	2	0.29	1	0.25	1	0.50	10	1.67
感染性胃腸炎	495	9.17	104	7.43	121	11.00	121	12.10	37	5.29	42	10.50	12	6.00	58	9.67
水痘	63	1.17	19	1.36	17	1.55	10	1.00	8	1.14	2	0.50	-	-	7	1.17
手足口病	9	0.17	6	0.43	-	-	2	0.20	-	-	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	2	0.04	-	-	1	0.09	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-
突発性発疹	22	0.41	9	0.64	4	0.36	3	0.30	-	-	1	0.25	-	-	5	0.83
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	0.42	4	0.80	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	0.20	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

( - : 0 or 0.00 ) ( 空白 : 定点なし )

保健所別報告患者数 2013年 13週 (2013/03/25～2013/03/31)

2013年4月3日

疾病名	全県		岡山市		倉敷市		備前		備中		備北		真庭		美作	
	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当	報告数	定点当
インフルエンザ	472	5.62	125	5.68	111	6.94	41	2.73	83	6.92	19	3.17	27	9.00	66	6.60
咽頭結膜熱	8	0.15	4	0.29	2	0.18	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.33
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	0.65	9	0.64	10	0.91	2	0.20	2	0.29	1	0.25	1	0.50	10	1.67
感染性胃腸炎	495	9.17	104	7.43	121	11.00	121	12.10	37	5.29	42	10.50	12	6.00	58	9.67
水痘	63	1.17	19	1.36	17	1.55	10	1.00	8	1.14	2	0.50	-	-	7	1.17
手足口病	9	0.17	6	0.43	-	-	2	0.20	-	-	-	-	-	-	1	0.17
伝染性紅斑	2	0.04	-	-	1	0.09	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	1	0.02	1	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	0.42	4	0.80	-	-	-	-	1	1.00	-	-	-	-	-	-

今週、岡山県地区別感染症マップにおいて、レベル2、レベル3に該当するものではありませんでした。

感染症発生動向調査 週情報 報告患者数 年齢別 ( 2013年 第13週 2013/03/25～2013/03/31 )

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80～
インフルエンザ	472	2	2	16	20	22	34	46	33	31	32	11	67	7	30	41	31	21	10	9	7

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20～
RSウイルス感染症	7	4	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	8	-	-	3	2	-	1	-	1	1	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	-	-	-	2	3	7	5	2	4	4	4	4	-	-
感染性胃腸炎	495	5	17	87	51	49	40	36	34	16	15	17	36	17	75
水痘	63	-	4	16	11	8	8	8	2	2	2	2	-	-	-
手足口病	9	-	-	5	-	1	-	-	1	-	-	-	2	-	-
伝染性紅斑	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
突発性発疹	22	-	12	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病名	合計	-6ヶ月	-12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70～	
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	-	-	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-

疾病名	合計	0歳	1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70～
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

( - : 0 )

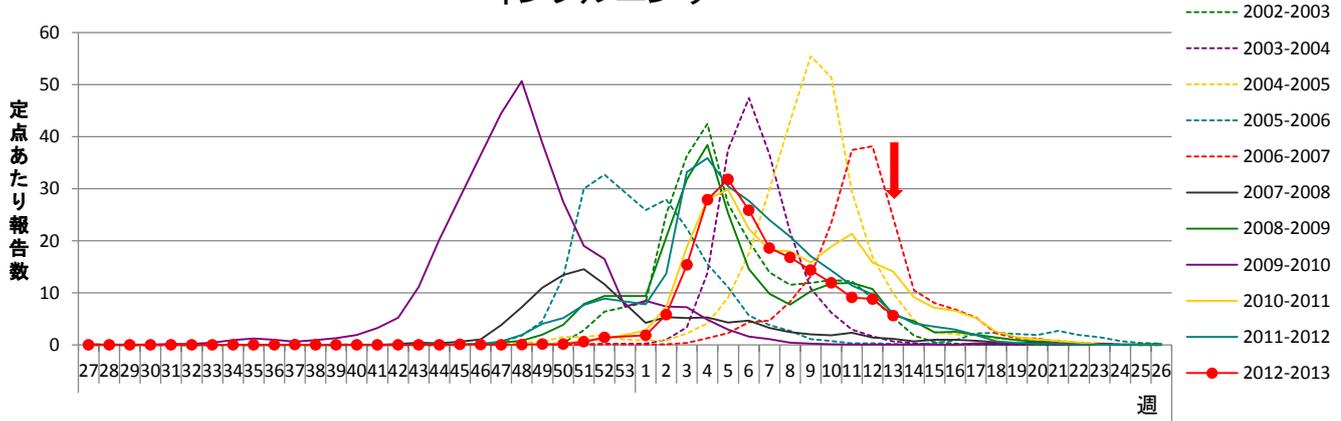
# 全数把握 感染症患者発生状況

2013年 13週

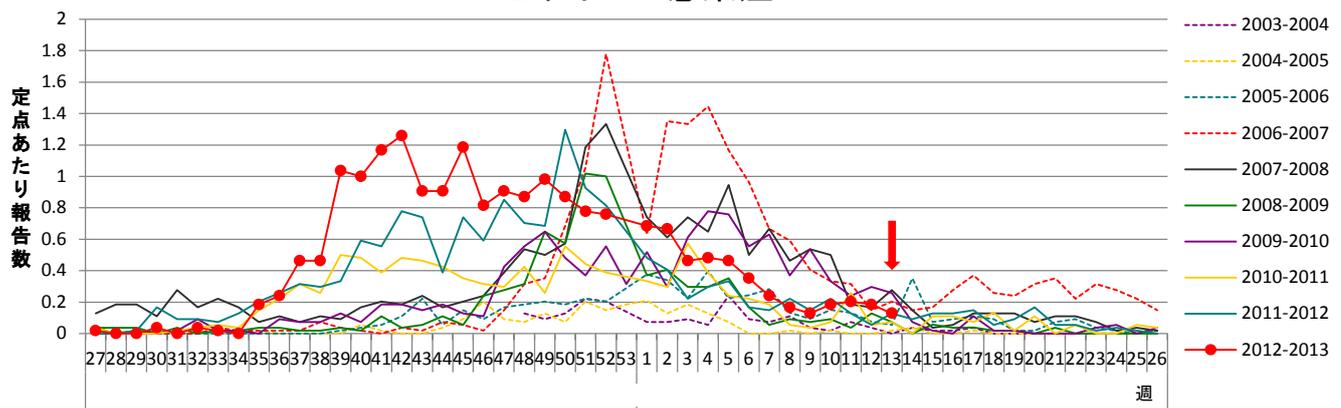
分類	疾病名	2013			疾病名	2013			疾病名	2013		
		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年		今週	累計	昨年
一類	エボラ出血熱	-	-	-	クリミア・コンゴ出血熱	-	-	-	痘そう	-	-	-
	南米出血熱	-	-	-	ペスト	-	-	-	マールブルグ病	-	-	-
	ラッサ熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
二類	急性灰白髄炎	-	-	-	結核	-	62	478	ジフテリア	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	鳥インフルエンザ(H5N1)	-	-	-		-	-	-
三類	コレラ	-	-	-	細菌性赤痢	-	-	-	腸管出血性大腸菌感染症	2	4	169
	腸チフス	-	-	1	パラチフス	-	-	-		-	-	-
四類	E型肝炎	-	-	-	ウエストナイル熱	-	-	-	A型肝炎	-	4	2
	エキノコックス症	-	-	-	黄熱	-	-	-	オウム病	-	-	-
	オムスク出血熱	-	-	-	回帰熱	-	-	-	キャサヌル森林病	-	-	-
	Q熱	-	-	-	狂犬病	-	-	-	コクシジオイデス症	-	-	-
	サル痘	-	-	-	重症熱性血小板減少症候群	-	-	-	腎症候性出血熱	-	-	-
	西部ウマ脳炎	-	-	-	ダニ媒介脳炎	-	-	-	炭疽	-	-	-
	チクングニア熱	-	-	-	つつが虫病	-	-	2	デング熱	-	-	1
	東部ウマ脳炎	-	-	-	鳥インフルエンザ	-	-	-	ニパウイルス感染症	-	-	-
	日本脳炎	-	-	-	日本紅斑熱	-	-	-	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
	Bウイルス病	-	-	-	鼻疽	-	-	-	ブルセラ症	-	-	-
	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-	発しんチフス	-	-	-
	ポツリヌス症	-	-	-	マラリア	-	-	-	野兔病	-	-	-
	ライム病	-	-	-	リッサウイルス感染症	-	-	-	リフトバレー熱	-	-	-
	類鼻疽	-	-	-	レジオネラ症	-	6	29	レプトスピラ症	-	-	-
	ロッキー山紅斑熱	-	-	-		-	-	-		-	-	-
五類	アマーバ赤痢	-	2	11	ウイルス性肝炎*3	-	-	7	急性脳炎*4	-	2	2
	クリプトスポリジウム症	-	-	-	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	1	1	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	-	-	1
	後天性免疫不全症候群	-	5	15	ジアルジア症	-	-	3	髄膜炎菌性髄膜炎	-	-	-
	先天性風しん症候群	-	-	-	梅毒	-	3	7	破傷風	-	-	1
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	2	風しん	1	12	6
	麻しん	-	-	6		-	-	-		-	-	-

侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症及び侵襲性肺炎球菌感染症は、来週から表記され、集計対象になります。

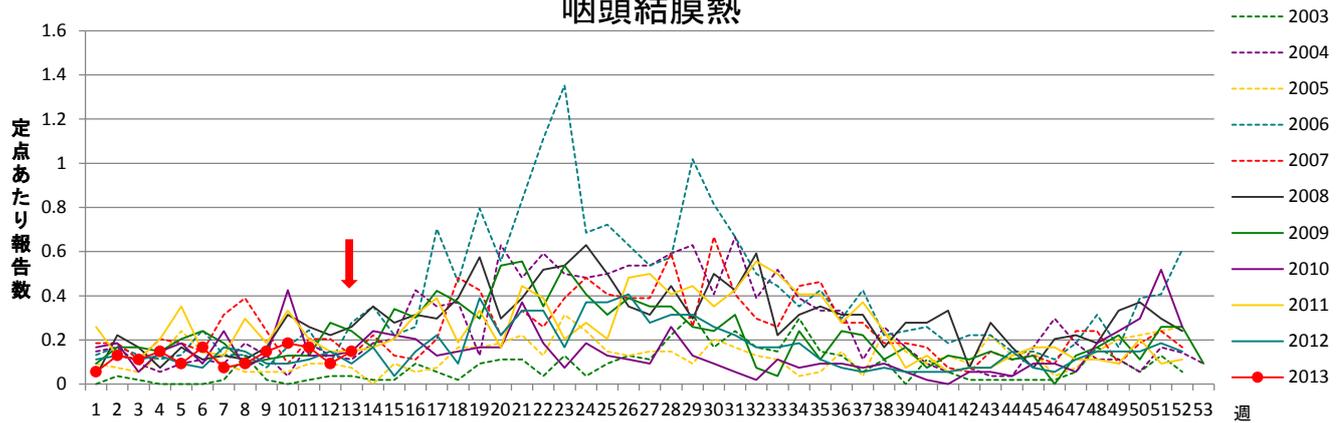
### インフルエンザ



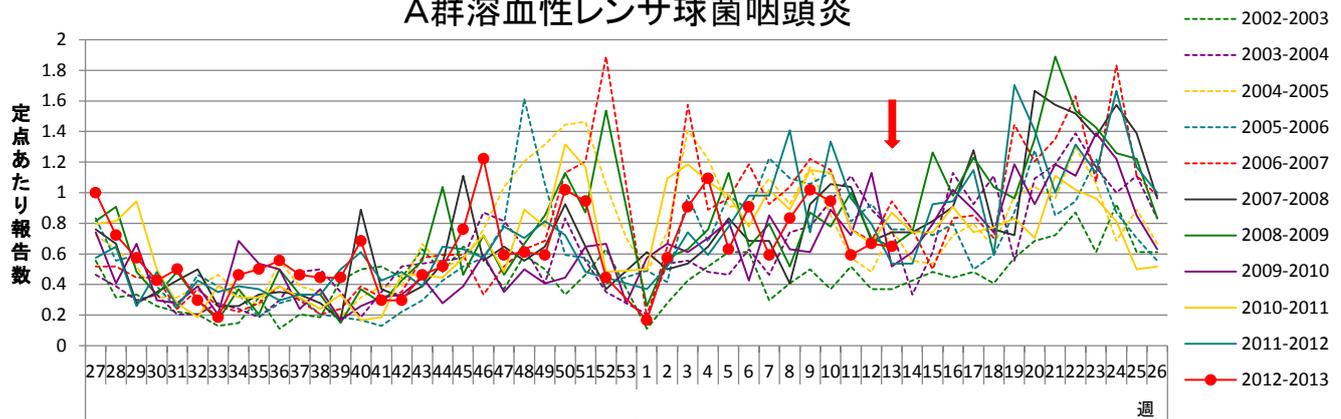
### RSウイルス感染症



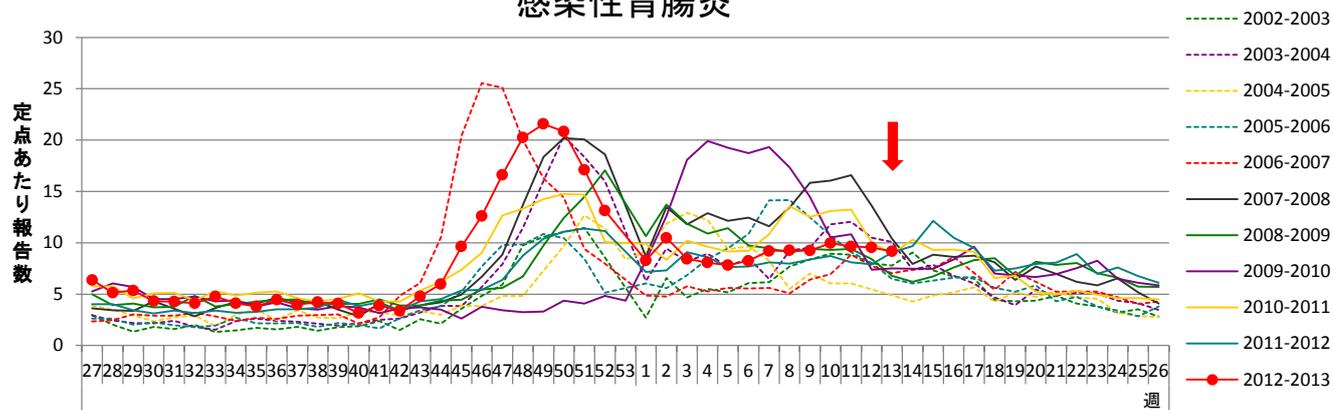
### 咽頭結膜熱



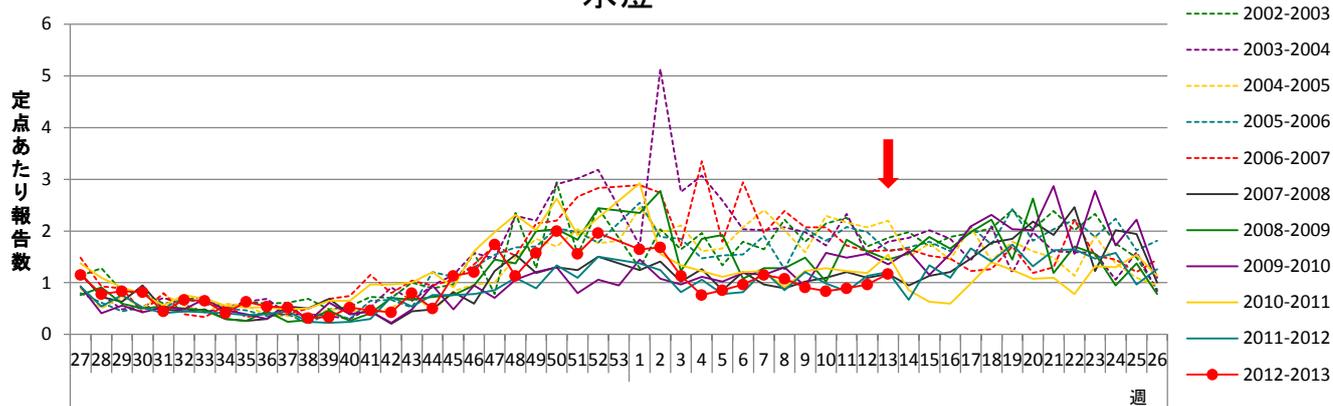
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



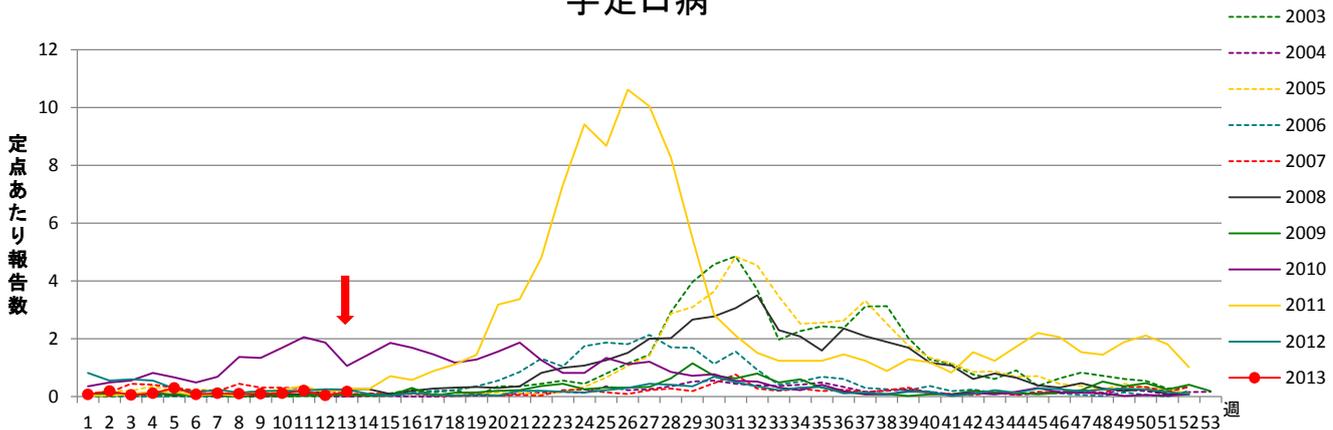
### 感染性胃腸炎



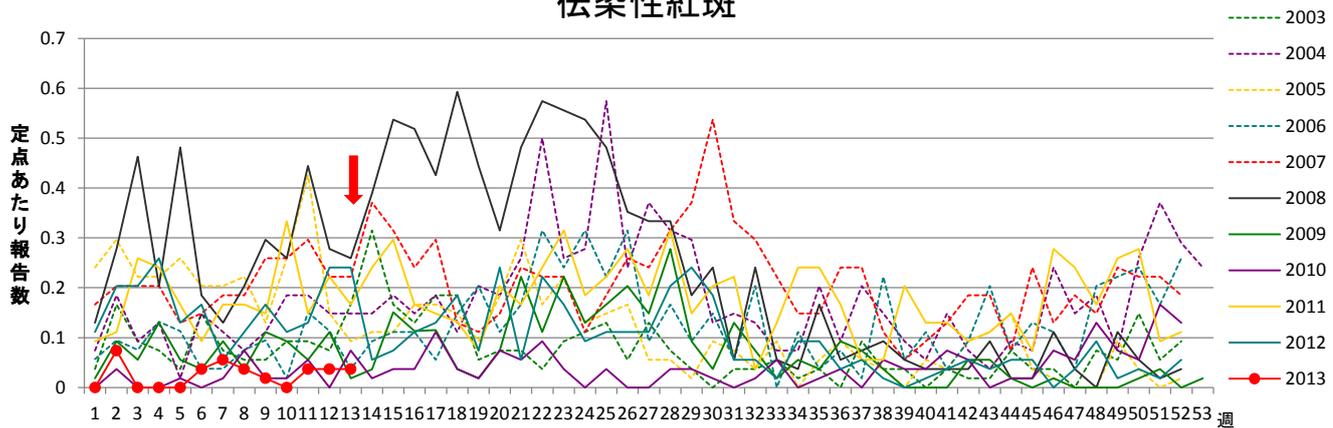
### 水痘



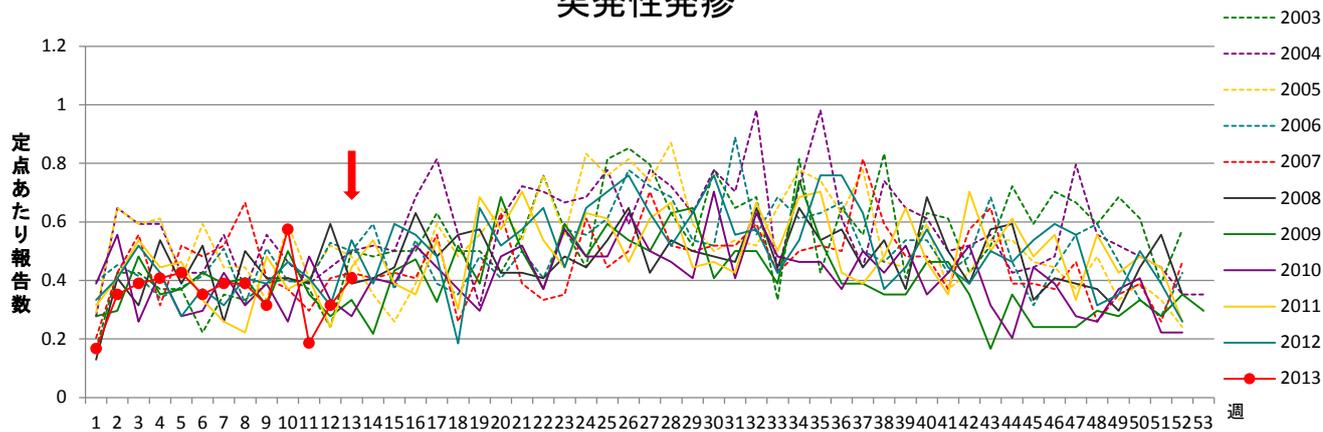
### 手足口病



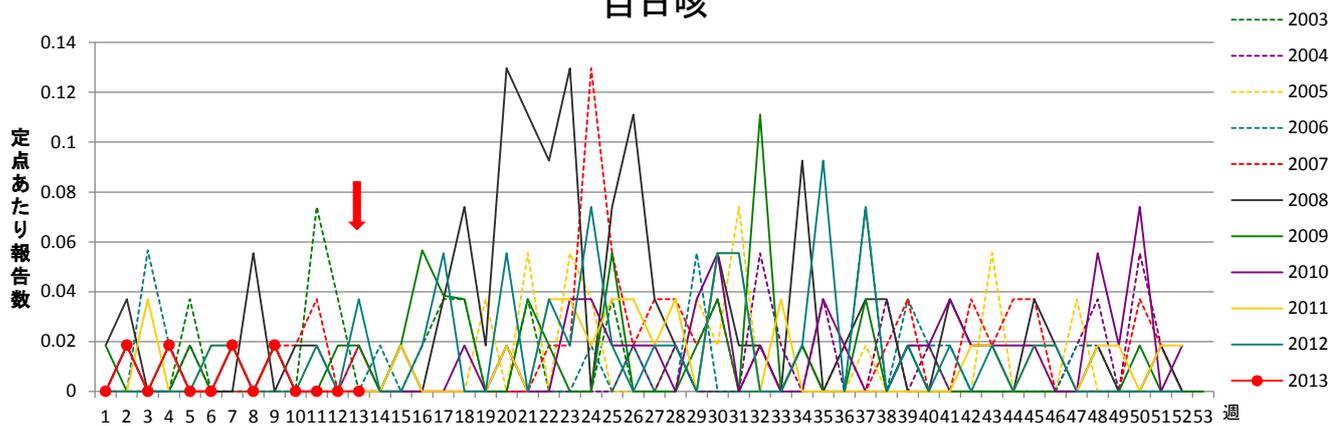
### 伝染性紅斑



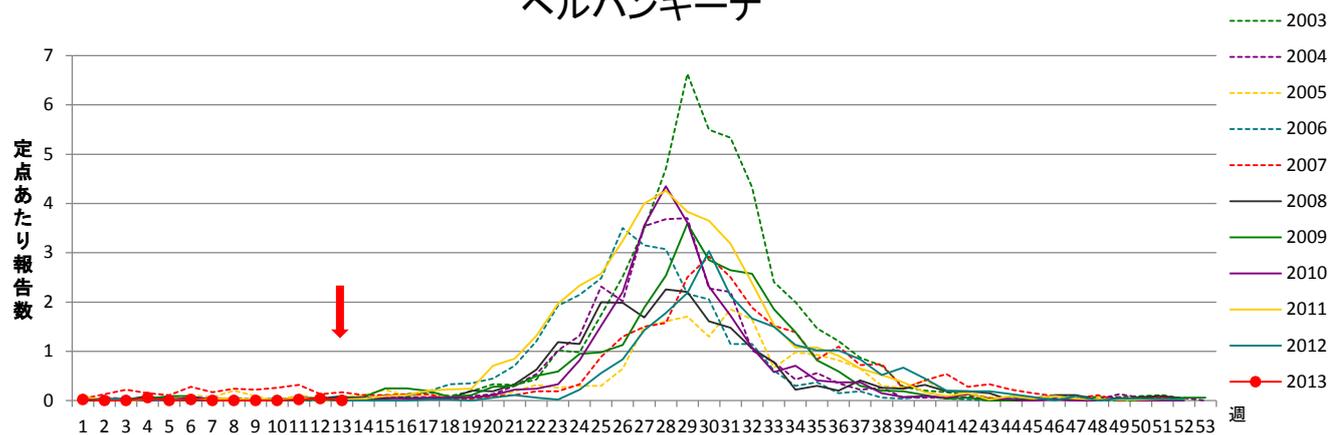
### 突発性発疹



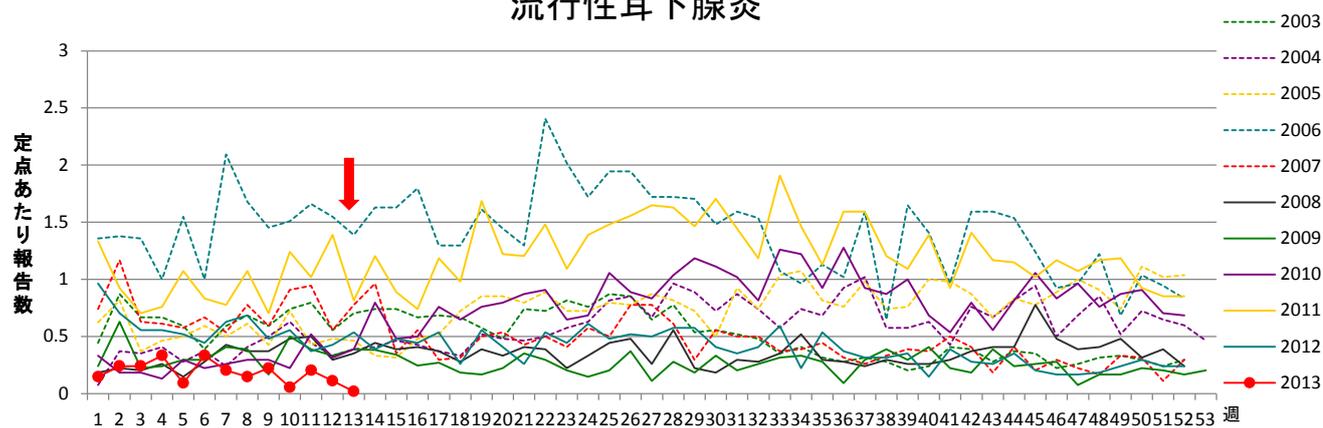
### 百日咳



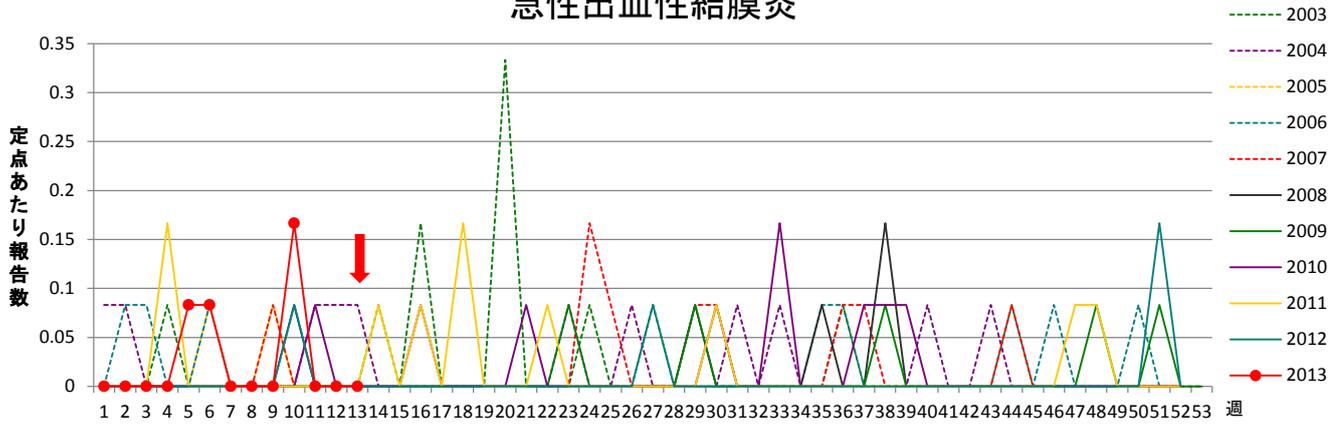
### ヘルパンギーナ



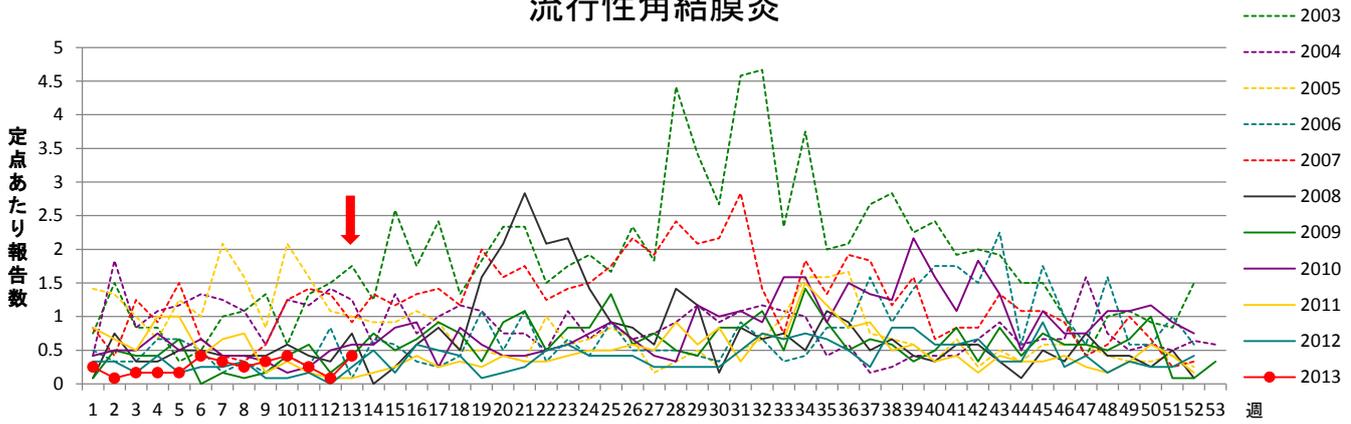
### 流行性耳下腺炎



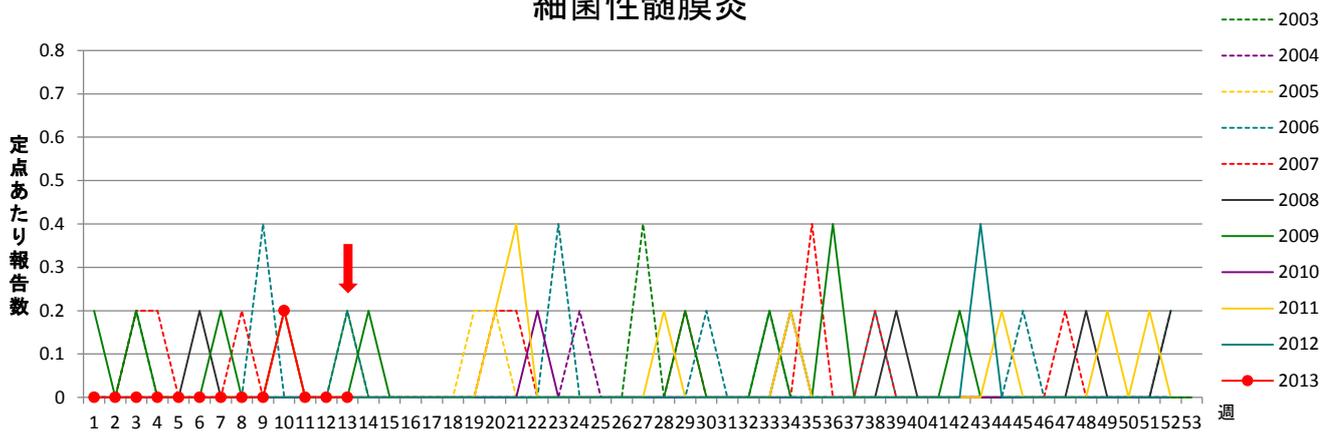
### 急性出血性結膜炎



### 流行性角結膜炎



### 細菌性髄膜炎



### 無菌性髄膜炎

